

TRANSACTION

2026年8月期 決算短信（中間期）補足説明資料

株式会社 トランザクション

2026年4月14日

1. 2026年8月期 中間期 決算の概要

2. 2026年8月期 通期業績予想

2026年8月期2Q決算ポイント

全体

売上高、利益ともに過去最高を更新し、上半期予想についても達成。
上半期の営業利益率は前年比+1.1pt。

製品分類別売上

【売上高伸長の主要因】
エンタメ（IP）・推し活需要の拡大、大型案件の獲得により
「ライフスタイルプロダクツ」が伸長。
eコマースの売上拡大により「エコプロダクツ」が伸長。

eコマース

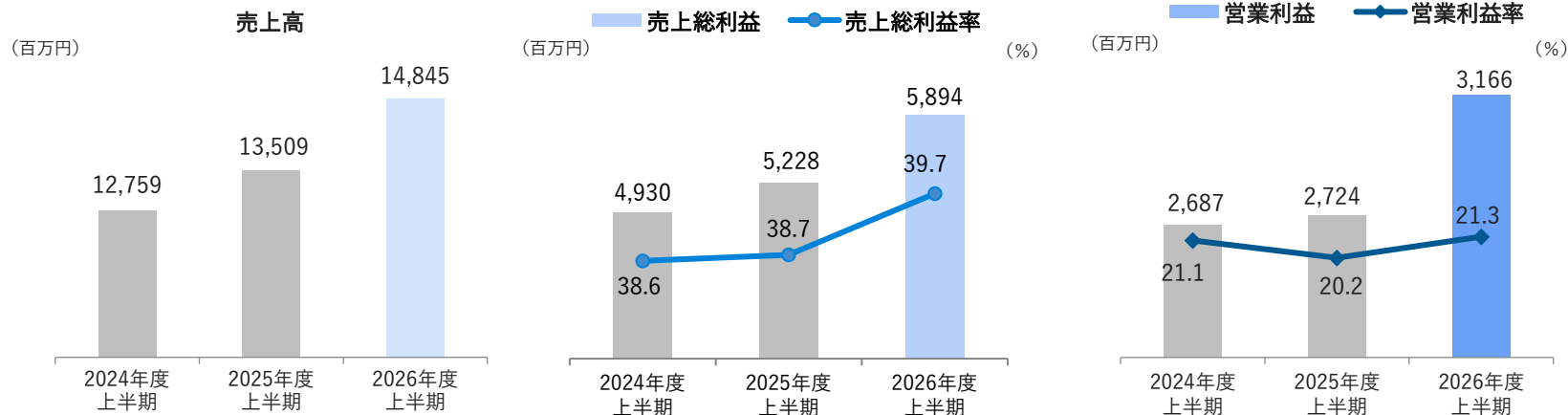
【利益率向上の主要因】
1Qに続き、相対的に利益率の高いDtoCサイト売上が好調に推移し、
売上総利益率が向上。eコマース売上の構成比率は30%超。

販管費

【販売費及び一般管理費増加の主要因】
人件費や売上連動による費用が増加。
加えて、売上拡大を目的としたWeb広告費用が増加。

業績の推移①

■ 売上高、利益ともに上半期として過去最高を更新



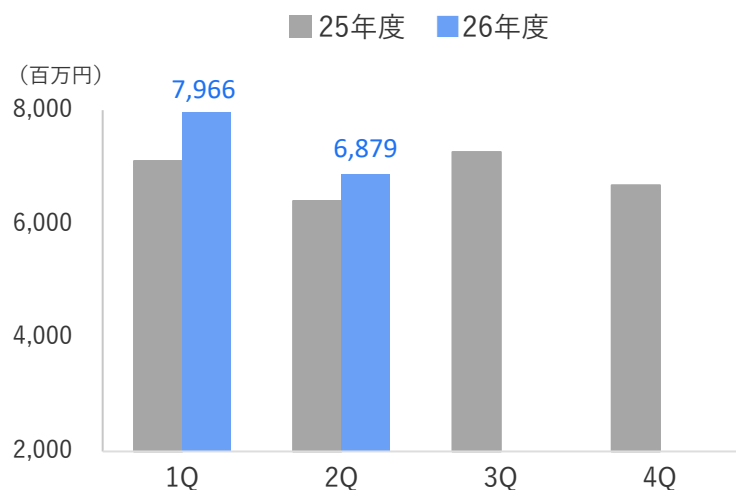
(単位：百万円)

科目	2024年度 上半期	2025年度 上半期	2026年度 上半期	YoY
売上高	12,759	13,509	14,845	109.9%
売上総利益 (売上総利益率)	4,930 (38.6%)	5,228 (38.7%)	5,894 (39.7%)	112.7%
営業利益 (営業利益率)	2,687 (21.1%)	2,724 (20.2%)	3,166 (21.3%)	116.2%
経常利益 (経常利益率)	2,857 (22.4%)	2,918 (21.6%)	3,249 (21.9%)	111.3%
親会社株主に帰属する 中間純利益 (中間純利益率)	1,892 (14.8%)	1,966 (14.6%)	2,117 (14.3%)	107.7%

業績の推移②（四半期毎）

■ 1Qに続き2Qも前年比で2桁増益

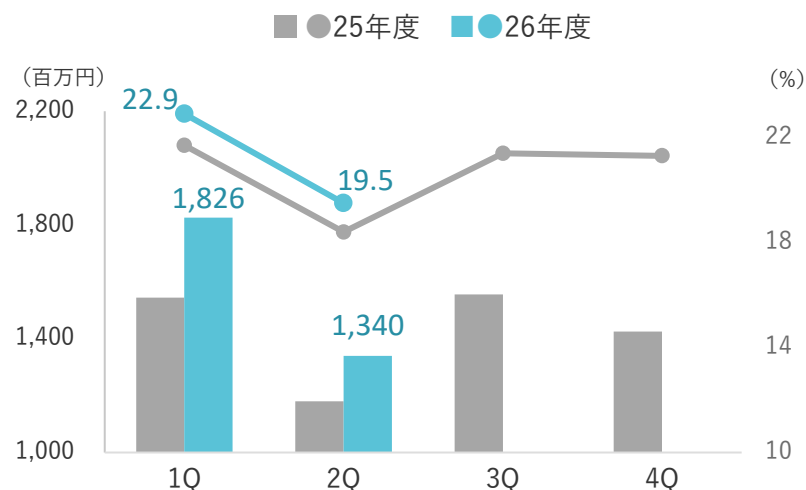
売上高



(単位：百万円)

	1Q	2Q	3Q	4Q
25年	7,106	6,403	7,263	6,680
26年	7,966	6,879	-	-
YoY	112.1%	107.4%	-%	-%

営業利益・営業利益率



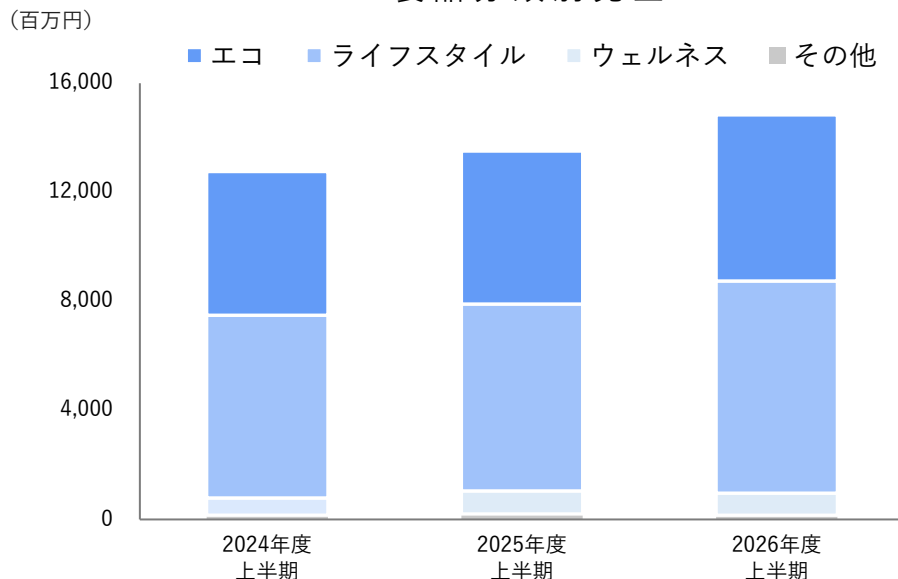
(単位：百万円)

	1Q	2Q	3Q	4Q
25年 営業利益	1,544	1,180	1,556	1,425
25年 (営業利益率)	(21.7%)	(18.4%)	(21.4%)	(21.3%)
26年 営業利益	1,826	1,340	-	-
26年 (営業利益率)	(22.9%)	(19.5%)	(-%)	(-%)
YoY	118.3%	113.6%	-%	-%

製品分類別売上

- エンタメ（IP）・推し活需要の拡大、大型案件の獲得により「ライフスタイルプロダクツ」が伸長。eコマースの売上拡大により「エコプロダクツ」が伸長

製品分類別売上



POINT

◆エンタメ（IP）

- ・エンタメ（IP）・推し活需要は拡大してはいるものの、2Qはエンタメ業界の端境期であり、ライフスタイルプロダクツは1Qに比べ小幅な伸長。

◆セールスプロモーション

- ・大型キャンペーン案件を複数獲得。

(単位：百万円)

製品分類	2024年度 上半期	2025年度 上半期	2026年度 上半期	増減額	YoY
エコプロダクツ	5,268	5,602	6,092	489	108.7%
ライフスタイルプロダクツ	6,700	6,861	7,782	921	113.4%
ウェルネスプロダクツ	631	844	818	△26	96.9%
デザインその他	157	200	151	△48	75.7%
合計	12,759	13,509	14,845	1,336	109.9%

e コマース 構成比

- 1Qに続き、相対的に利益率の高いDtoCサイト売上が好調に推移し、売上総利益率は向上。eコマース売上の構成比率は30%超

【eコマース売上推移】

(単位：百万円)

e コマース	2024年度 上半期	2025年度 上半期	2026年度 1Q	2026年度 2Q	2026年度 上半期	増減額	YoY
売上高	2,733	3,708	2,423	2,068	4,492	783	121.1%
連結売上高に占める売上割合	21.4%	27.5%	30.4%	30.1%	30.3%	-	+2.8% [※]

【eコマース売上内訳】

(単位：百万円)

e コマース 売上高内訳	2026年度 1Q		2026年度 2Q		2026年度 上半期	
	売上高	YoY	売上高	YoY	売上高	YoY
BtoBサイト	1,292	108.6%	1,122	115.5%	2,415	111.7%
DtoCサイト	1,131	133.5%	945	135.4%	2,076	134.3%
合計	2,423	118.9%	2,068	123.8%	4,492	121.1%

◆ BtoBサイト

- ・ 既存顧客のマーケティング支援強化や、新規顧客の獲得により、売上は2桁伸長。

◆ DtoC※サイト

- ・ 販促STYLE、オリジナルグッズプレス、オリジナルグッズドットコムなどの自社サイトにおいて、SEO対策の強化による検索順位の向上やWeb広告の出稿などの効果により、売上は好調に推移。

※「Direct to Consumer」の略で、メーカーが自社で企画・製造した商品を卸売業者や店舗などの中間業者を介さず、直接最終顧客に販売するビジネスモデル

販売費及び一般管理費の主な増加要因

- 販管費は概ね計画どおりに推移。前年比では約9%増

(単位：百万円)

科目	2025年度 上半期 実績	2026年度 上半期 計画	2026年度 上半期 実績	前年増減額	YoY
販売費及び 一般管理費	2,504	2,749	2,727	223	108.9%

販売費及び一般管理費の主な増加要因

1. 社員の処遇向上および、前年度に採用したエンタメ(IP)分野への人員拡充により、人件費の増加。(前年増減額 +125百万円)
2. 売上増加に連動した出荷運賃や販売手数料が増加。(前年増減額 + 36百万円)
3. eコマースの売上拡大を目的としたWeb広告施策の強化により、広告宣伝費が増加。(前年増減額 + 19百万円)

損益の達成状況

- 売上高、利益ともに過去最高を更新。上半期計画についても達成。
上半期の営業利益率は前年比+1.1pt、計画比+1.3pt

(単位：百万円)

科目	2025年度 上半期 実績	2026年度 上半期 計画	2026年度 上半期 実績	前年		計画	
				増減額	YoY	差額	達成率
売上高	13,509	14,340	14,845	1,336	109.9%	505	103.5%
売上総利益 (売上総利益率)	5,228 (38.7%)	5,623 (39.2%)	5,894 (39.7%)	665	112.7%	271	104.8%
販売費及び 一般管理費	2,504	2,749	2,727	223	108.9%	△22	99.2%
★ 営業利益 (営業利益率)	2,724 (20.2%)	2,873 (20.0%)	3,166 (21.3%)	442	116.2%	293	110.2%
経常利益 (経常利益率)	2,918 (21.6%)	2,972 (20.7%)	3,249 (21.9%)	330	111.3%	276	109.3%
親会社株主に帰属 する中間純利益 (中間純利益率)	1,966 (14.6%)	1,944 (13.6%)	2,117 (14.3%)	150	107.7%	173	108.9%

1. 2026年8月期 中間期 決算の概要

2. 2026年8月期 通期業績予想

マクロ環境①（地政学リスク）

景気の先行きは、2月28日に開始された米国・イスラエル共同のイランに対する大規模な軍事攻撃による中東情勢の緊迫化に伴う円安・原油高・物流混乱や地政学リスクの増大などから悪化が強く懸念されます。

[当社グループの対応]

- ・一定割合での為替予約。

（下半期はイージーオーダー製品の仕入予定額に対して**26%、138円**で既に為替予約済み）

- ・中華圏の旧正月前に在庫を積み増し、3Qの繁忙期で在庫を消化する局面においてもその水準を維持・拡大。

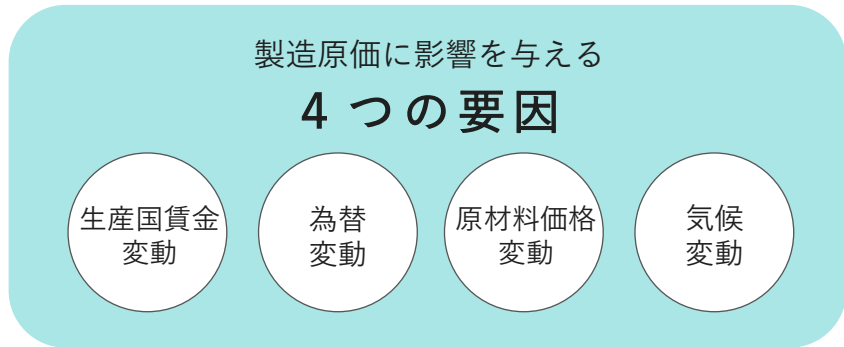
想定可能な範囲で、8月末までの需要に対する原材料の確保を済ませており、半製品を含めた在庫の積み増しを実施。

- ・販売価格への転嫁を最低限にとどめる。

下半期の業績に対する影響は、現時点で限定的であると見込んでいます

マクロ環境②（製造原価に影響する外的要因）

- 今後も強固なサプライチェーンマネジメントを基盤として、不測の事態にも対応可能な供給体制のさらなる強化を図る



高いフレキシビリティで環境変化に対応することで安定的な利益の確保が可能。

各国でカントリーリスクが発生した場合でも迅速に生産拠点を切替え可能な体制。

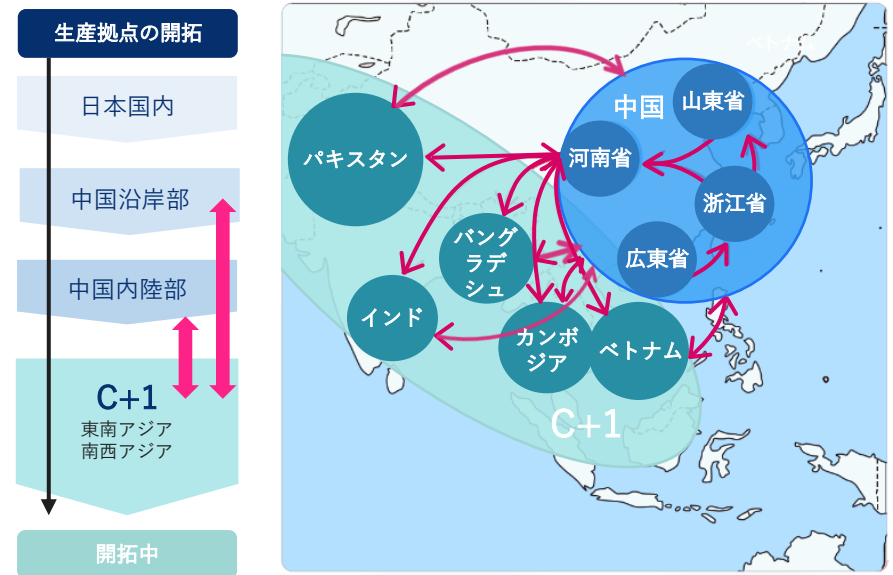
サプライチェーンマネジメントを構築

<直近に顕在化した要因>

- 原油高
- 原油由来原料の価格高騰
- 急激な為替変動
- 物流コスト上昇
- 国内物価高騰
- 国内人件費上昇
- トランプ新関税
- 地政学的リスク (イラン情勢など)

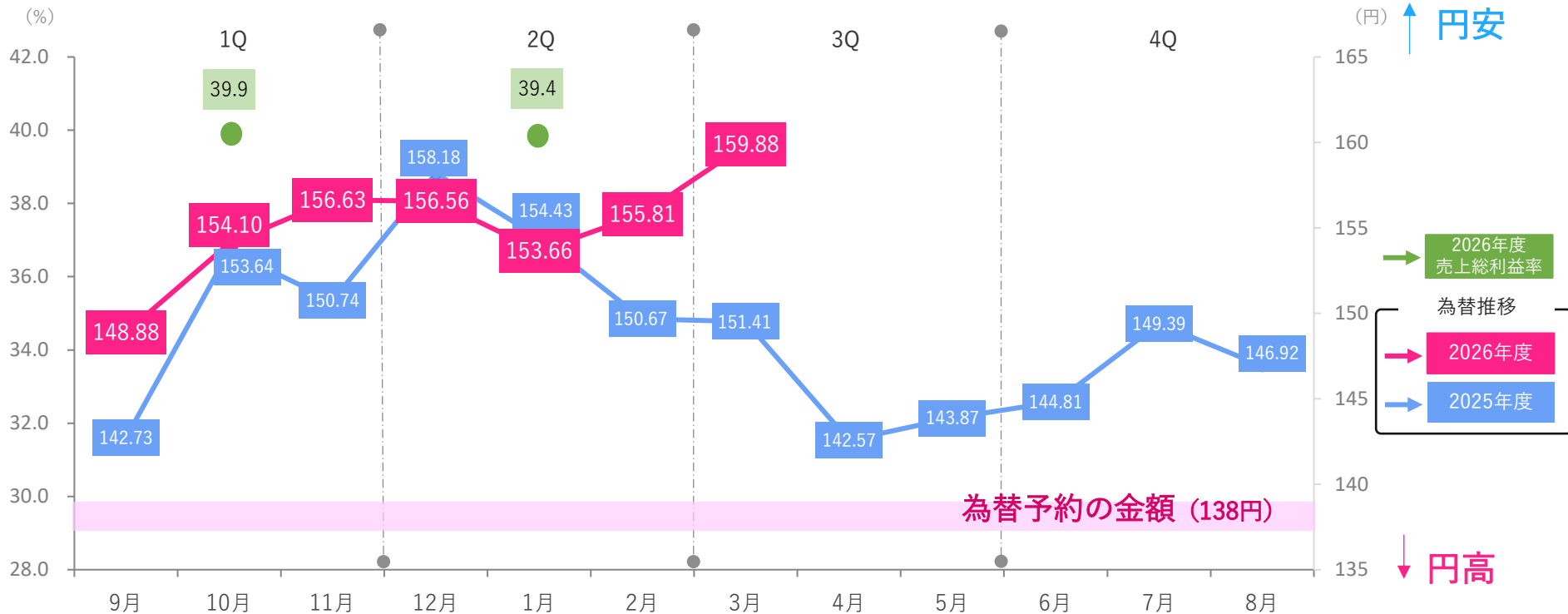
<今後起こりうる要因>

- 原油由来原料の供給停止
- エネルギー不足による工場の稼働制限
- 物流網の寸断



移動型ファブレスを最大限に活かした、“適地生産”の徹底！

マクロ環境③（日本円と米ドルの為替推移）



下半期以降の
利益率の安定化に
向けた取り組み

ドル円の為替が円安に進んでいる状況から、以下の取り組みを強化しています。

- ①為替予約による利益率の安定化。
⇒下半期はイージーオーダー製品の仕入予定額に対して**26%、138円**で為替予約済み。
- ②海外サプライヤーとの現地通貨による価格交渉の強化及び、機動的な適地生産の徹底。
- ③販売価格への転嫁を最低限にとどめる。

下半期における販管費の増加要因および一過性の損益

- 下半期における販管費の主な増加要因は、当初計画に織り込み済みの人件費とイレギュラーに発生した費用を見込む。なお、一過性の利益も発生見込み

計画内	販管費の 主な増加要因	<ul style="list-style-type: none">・ 新卒社員（47名）や中途社員の入社により人件費が増加。今後エンタメ（IP）などの成長分野に人員を拡充。（前年増減額 + 270百万円）
イレギュラー	販管費の 主な増加要因 (90百万円)	<ul style="list-style-type: none">・ 新システムの稼働により一過性の情報システム費が発生。（+ 14百万円）・ M & A関連費用により支払手数料が発生。（+ 76百万円）
	一過性の利益 (121百万円)	<ul style="list-style-type: none">・ 有価証券の売却による投資有価証券売却益の発生。（+ 90百万円）・ コンテナ水漏れによる製品破棄及び手数料に係る保険収入が発生。（+ 31百万円）

修正通期予想には、本スライドにてご説明した
イレギュラーに発生した販管費および利益も反映済み

通期業績予想の上方修正

- 下半期業績予想の数値を据え置くことを前提に、イレギュラーな販売管理費及び特別損益を加味した通期業績予想の上方修正を行う

※2026年4月14日公表「通期業績予想の修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」参照

(単位：百万円)

科目	当初 通期予想	修正 通期予想	修正額	当初予想比
売上高	29,500	30,000	500	101.7%
売上総利益 (売上総利益率)	11,760 (39.9%)	12,025 (40.1%)	265	102.3%
販売費及び 一般管理費	5,660	5,725	65	101.2%
営業利益 (営業利益率)	6,100 (20.7%)	6,300 (21.0%)	200	103.3%
経常利益 (経常利益率)	6,300 (21.4%)	6,450 (21.5%)	150	102.4%
親会社株主に帰属 する当期純利益 (当期純利益率)	4,120 (14.0%)	4,288 (14.3%)	167	104.1%

※1 90百万円（M&A関連費用/76百万円+新システム稼働に伴う費用/14百万円）を含む。

※2 121百万円（有価証券の売却/90百万円+保険収入/31百万円）を含む。

2026年8月期 通期業績予想

■ 通期業績予想の修正により、売上総利益・営業利益は前年比で2桁伸長を計画

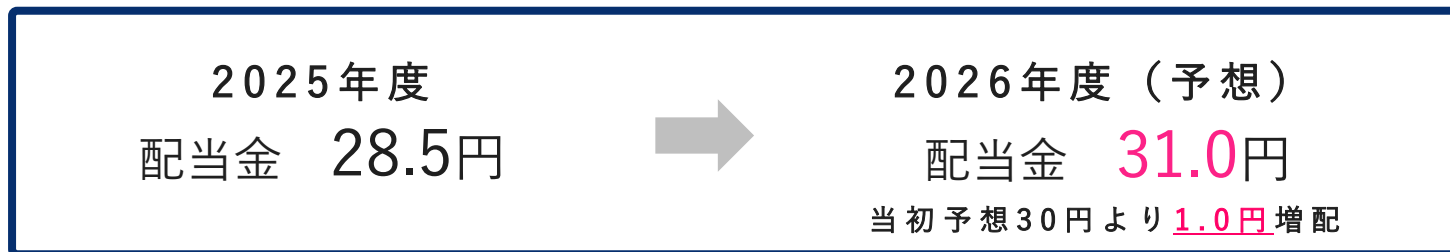
(単位：百万円)

科目	2025年度 実績	修正 通期予想	増減額	前年比
売上高	27,453	30,000	2,546	109.3%
売上総利益 (売上総利益率)	10,792 (39.3%)	12,025 (40.1%)	1,233	111.4%
販売費及び 一般管理費	5,086	5,725	639	112.6%
営業利益 (営業利益率)	5,706 (20.8%)	6,300 (21.0%)	593	110.4%
経常利益 (経常利益率)	6,011 (21.9%)	6,450 (21.5%)	438	107.3%
親会社株主に帰属 する当期純利益 (当期純利益率)	4,078 (14.9%)	4,288 (14.3%)	209	105.1%

2026年3月16日公表の「株式会社サウザンドの株式の取得による連結子会社化及び特定子会社の異動に関するお知らせ」のとおり、2社の連結子会社化による通期業績に与える影響について慎重に精査した結果、通期業績修正に与える影響は軽微であると判断いたしました。今後、通期業績予想の修正が必要と判断した場合には、速やかにお知らせいたします。

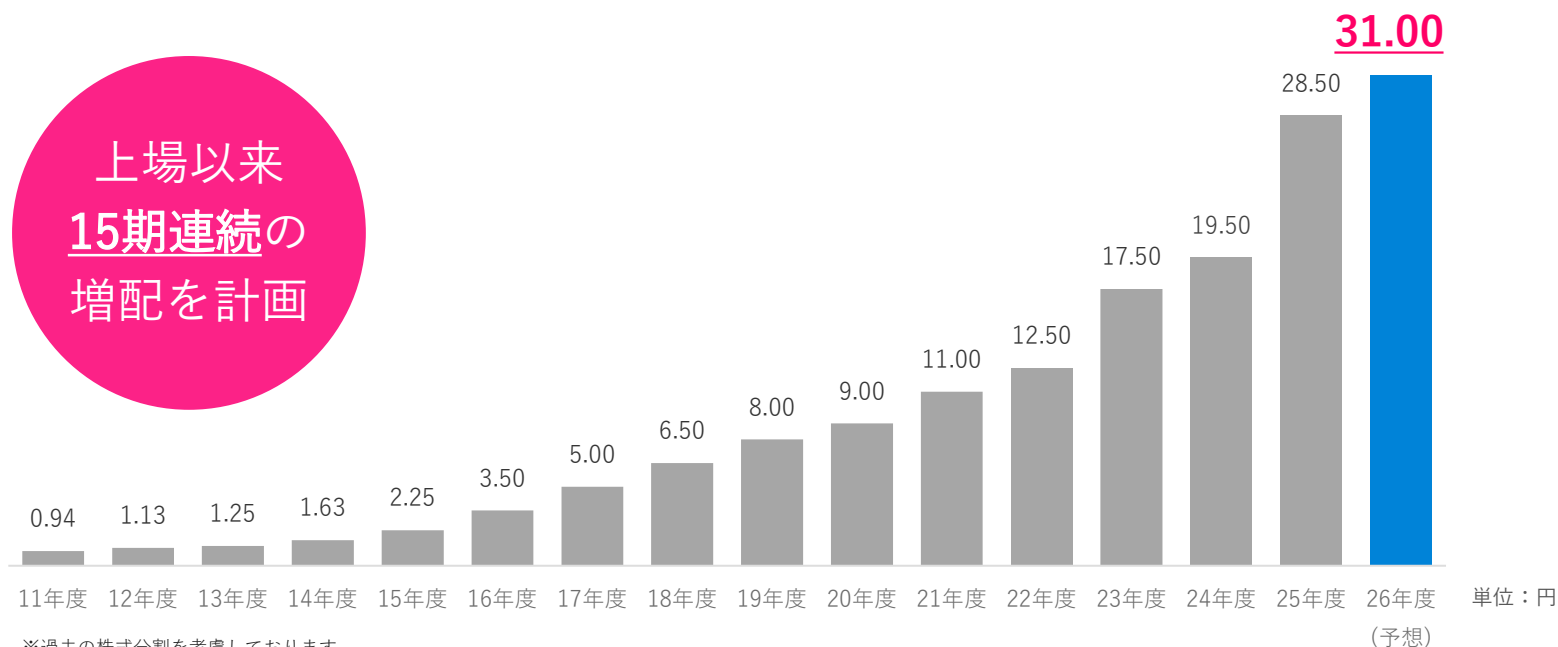
配当

- 配当性向40%以上・DOE7.0%下限。15期連続の増配を計画



※2025年9月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っており、2025年8月期の期末配当は当該株式分割後の数値とした場合は28.5円となります。

《 配当金の推移 》



※過去の株式分割を考慮しております。

TRANSACTION

株式会社トランザクション

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-28-13 渋谷新南口ビル8階

TEL : 03-5468-9033

FAX : 03-5468-8010

<https://www.trans-action.co.jp/>

<ご注意事項>

本資料は株式会社トランザクションによって作成されたものです。

将来予想に関する記述については、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。予想と異なることがある点を認識された上でご利用ください。